

大阪・関西万博応援マガジン

EXPOST

with
まちごと
万博Apr.
2025
VOL. 08
TAKE FREEEXPOST [エキスポスト]
EXPO(万博)+POST(新聞)の造語TEAM
EXPO
2025
いどもう、みらいに。
"共創チャレンジ"

大阪・関西万博がやってきた!!



ミヤクミヤクのモニュメントの前で万博開催を喜ぶ「まちごと万博」の関係者ら

どんなレガシー
未来に残す？

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）が4月13日に開幕した。会場を初めて訪れた人にはまず、シンボルの大屋根リングに上ることをお勧めしたい。そこから1つになった「世界」が見えるはずだ。

1周約2kmの大屋根の内側には参加158カ国・地域、7国際機関のパビリオンと、「シグネチャーパビリオン」という8つのテーマ館が並んでいる。中央にあるのは「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博のテーマを象徴する「静けさの森」。日本館や民間パビリオンは大屋根の外に配置されている。

「多様でありながら、ひとつ」。大屋根には、そんな万博の理念が込められていると、会場デザインプロデューサーの建築家、藤本壮介さんは説明する。

2018年に万博開催が決まってから7年。その間、

新型コロナウイルスが世界に広がり、ウクライナとパレスチナで戦争が起きた。新型コロナ禍は終息したが、停戦の動きが出てきたものの戦争はまだ続いている。「いのち」の意味合いは大きく変わった。

そんな時代に世界中の人々が半年間、大阪・夢洲に集まる意味合いは決して小さくない。万博にはウクライナ、イスラエル、パレスチナも参加した。

日本国際博覧会協会（万博協会）は10月13日までの会期中に約2820万人の来場を見込んでいる。しかし、この数字だけが万博の目標ではない。

2015年ミラノ万博は途上国の飢餓と先進国の食料廃棄の問題を取り上げ、世界が「食品ロス」に取り組むきっかけとなった。1985年大阪花博は1970年大阪万博と比べると印象は薄いのが、花博から「自然との共生」という精神が日本で広がったといわれる。

1851年にロンドンで産声をあげた万博は初期の「国威発揚型」から高度成長時代の「技術開発型」を経て、21世紀に入って地球規模の「課題解決型」になった。大阪・関西万博は未来の人たちに、どんなレガシー（遺産）を残すことができるだろうか。

初めてのSNS万博

SNS（交流サイト）が本格普及して初めての国際イベントになるのも大阪・関西万博の特徴だ。新聞やテレビだけではなく、来場した人たちがX（旧Twitter）、Instagram、YouTubeなどを通して万博についてさまざまな情報を発信することは間違いなく、それがどんな化学反応を起こすのかも注目される。



13～16面は、さまざまなイベントやプロジェクトで街から万博を盛り上げる活動「まちごと万博」のページ。「EXPOST」の今後についてもご報告します。

■大屋根リングがギネス世界一

大阪・関西万博のシンボル、大屋根リングが「世界最大の木造建築」としてギネス世界記録に認定され、3月4日、万博会場で授与式が開かれた。6万1000㎡の建築面積が最大と認められた。リングは外径675m、1周2kmで、高さは最大20m。木材は国産のヒノキ、スギと欧州産のアカマツを使っており、2月27日に完成した。

■輪島塗地球儀で復興を発信

2024年1月の能登半島地震で奇跡的に無傷だった輪島塗大型地球儀「夜の地球 Earth at Night」=写真(石川県輪島漆芸美術館提供)=が大阪・関西万博の会場で展示されている。直径1m、重さ215kgで、輪島塗技術保存会が17年から5年がかりで仕上げた。地震と同9月の奥能登豪雨という二重被災からの復興のシンボルとして、万博で世界に発信することになった。



■バーチャル万博も開幕

大阪・関西万博に合わせ、ネット上で「バーチャル万博」が4月12日から本格稼働した。「空飛ぶ 夢洲」と名付けられた仮想空間で、自身のアバター(分身)を操作しながら現実の万博会場を忠実に再現したパビリオンを巡ることができる。会期中、現実の万博と連動したイベントも行われる予定。専用アプリはパソコンやスマートフォンから無料でダウンロードできる。

■未来の自分から手紙

日本郵便は4月13日、大阪・関西万博の会場内に2カ所の郵便局を開設した。営業時間は午前9時～午後7時。「Play!郵便局(プレイ郵便局)」をコンセプトに、郵便サービスの提供のほか、記念グッズの販売や「未来の自分から手紙が届く」という体験型コンテンツなども展開している。記念押印サービスとして大屋根リングなどの風景が入った日付印なども用意している。

大阪・関西万博のニュースは「EXPOST」の公式アカウントでも紹介しています。ぜひご覧ください。



カカオ農園再生進めるカフェタナカ アフリカの島国 サントメの万博出展に協力

アフリカ西部の島国サントメ・プリンシペでチョコレートの原料となるカカオの農園再生プロジェクトに取り組んでいるカフェ・洋菓子店「カフェタナカ」(名古屋市北区)が、大阪・関西万博で同国の出展に協力することになった。海外参加国の共同館「コモンズ-D館」にあるサントメのブースで、プロジェクトの紹介をすとも大阪限定のクッキー缶などを発売。売り上げの一部はサントメの現地生産者に還元する。ギニア湾に浮かぶサントメは人口23万人で、おもな産業は農業。ポルトガルの植民地時代にブラジルから持ち込まれたカカオをアフリカで最初に栽培し、最盛期には「カカオ島」と呼ばれるほどの生産量を誇った。だが、1975年の独立後、放棄されたままになっている農園が多い。この状況に危機感を抱いたのが、カフェタナカの社長でグランシェフパティシエの田中千尋さんだ。



サントメ・プリンシペのカカオ農園で現地のスタッフと並ぶ田中さん(カフェタナカ提供)

カフェタナカは田中さんの父、寿夫さんが1963年に開店した自家焙煎珈琲専門店「タナカコーヒー」が前身。田中さんは「父のコーヒーに合うフランス菓子を作りたい」との思いから21歳で渡仏した。パリで研鑽を積み、95年に帰国後、喫茶店を受け継いでカフェタナカとして発展させた。現在は大阪・梅田の阪急百貨店本店など全国のデパートにも菓子店を出店している。菓子にあうフルーツや食材を探すため、世界中の生産地に足を運んでいる田中さんは、サントメで原種のまま残っている、質の高いカカオと出会った。一方で放棄され

て荒れ果てた農園が多いうえ、働き手である女性の地位が男性より低いことも知った。このため、会社でカカオ農園の再生プロジェクトに取り組むことになった。サントメ島の中心部から車と徒歩で1時間40分の場所にある1haの放棄農園を使って、2019年に「カフェタナカ希望の有機カカオ農園」を開園。現地女性2人をリーダーにして農園の再生を始めた。現在は複数の農家が働いているほか、リーダーの女性たちが隣接する農園を自分で購入するなど活動の輪は広がっているという。こうした実績が評価され、サントメ政府

代表から万博出展への協力を依頼された。ブースでは再生プロジェクトや同国の自然保護の取り組みなどを紹介している。田中さんは「多くの人にサントメ・プリンシペという国や文化、そこで働く人々を知り、カカオの現状と未来について考えるきっかけにしたい」と話している。サントメ産のカカオをふんだんに使った大阪限定クッキー缶の価格は3240円。ブースでの販売は不定期で、販売スケジュールは同社の公式サイトで案内する。万博会期中、阪急百貨店本店の店舗や同社のオンラインショップでも販売している。



チリパビリオンに展示されている巨大な「マクン」(同パビリオン提供)

チリパビリオン「マクン」 先住民の巨大織物展示

大阪・関西万博のチリパビリオンに、表面積242㎡という大きな織物が展示されている。「マクン」と呼ばれ、先住民の女性200人が伝統的な手法で織り上げた。パビ

リオンは、万博協会が建設した建物の一区画(約300㎡)を使う「タイプB」。展示エリアの中央に、CLT(直交集成板)と呼ばれる最新の建設技術で作った幅5m、奥行き13mの構造物を設置し、その周囲をマクンで覆っている。「チリの多様性と革新性を象徴するインスタレーション(空間芸術)に仕上がった」(同パビリオン)という。館内の壁には延長40mのディスプレイを巡らせ、チリの豊かな文化遺産や持続可能性への取り組みなどを紹介している。名物のチリ・ワインやチリ・ビスコ(ぶどう蒸留酒)などの試飲も5月からできるという。5月12日の「ナショナルデー」には、EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」で音楽やダンスなどを披露する予定。

意味する言葉。チリの先住民に根付いた伝統的な織物文化を象徴している。万博に出展されたマクンは色鮮やかな幾何学模様。アラウカニア州とビオビオ州に住む5つのマプチェ族のグループが数か月かけて制作した。ほぼテニスコートの大きさで、500～700kgの羊毛が使われたという。1カ月半かけ船で大阪に運ばれた。同パビリオンは、万博協会が建設した建物の一区画(約300㎡)を使う「タイプB」。展示エリアの中央に、CLT(直交集成板)と呼ばれる最新の建設技術で作った幅5m、奥行き13mの構造物を設置し、その周囲をマクンで覆っている。「チリの多様性と革新性を象徴するインスタレーション(空間芸術)に仕上がった」(同パビリオン)という。館内の壁には延長40mのディスプレイを巡らせ、チリの豊かな文化遺産や持続可能性への取り組みなどを紹介している。名物のチリ・ワインやチリ・ビスコ(ぶどう蒸留酒)などの試飲も5月からできるという。5月12日の「ナショナルデー」には、EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」で音楽やダンスなどを披露する予定。



北欧の豊かな暮らし体感 5カ国共同出展のパビリオン

デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンの5カ国は大阪・関西万博に「北欧パビリオン」として共同出展をした。同パビリオンでは、持続可能性やワーク・ライフ・バランスを重視する北欧のライフスタイルを体感できる。ウォータープラザに面して建つ、重厚な木の外観の建物が北欧パビリオンだ。イタリア建築家のミケーレ・デ・ルッキさんが北欧の伝統的な納屋をイメージして設計した。鉄骨造の3階建てで、墨を混ぜた柿渋を塗ったスギ板で覆っている。1階の展示エリアは吹き抜けの空間で、渦巻き状に吊るされた多数の紙に北欧の日常生活を写した動画や写真が約20分間映し出される。紙は廃棄米をリサイクルして作ったものだ。岩のようなオブジェが3つあり、入場者が近づくと再生可能エネルギーやワーク・ライフ・バランスといった5カ国共通の取り組みを紹介する映像がモニターに流れる。北欧の室温や香りも再現し、五感に響く没入型展示になっている。このほか、1階にショップ、2・3階にビジネスセミナーなどが行われる会議室、ルーフテラスにレストラン(90席)がある。テラスからは万博会場が一望できる。日本で開かれる万博に5カ国が共同出展するのは1970年大阪万博、2005年愛知万博(愛・地球博)について3度目。その理由について、フィンランド政府代表のニタ・ピルカマさんは「文化や言葉、習慣

は違っても北欧5カ国は似通った価値観を持っており、つながりが深いのです。普段からさまざまな分野でも協力しています。『信頼』と『協業』は万博で私たちが訴えたいメッセージなのです」と説明する。国連が3月に発表した世界幸福度ランキングで、ピルカマさんの母国・フィンランドは8年連続で1位となった。これにデンマーク、アイスランド、スウェーデンが続き、上位は北欧5カ国が占めている。こうした北欧の豊かな生活は展示エリア以外でも感じることができる。シンプルさと機能美を追求した北欧デザインは日本でも人気が高いが、万博ではデンマークの3つのデザインブランドがパートナーとなり、家具を提供。日本の「縄を結ぶ」文化にインスピレーションを得たボーコンセプトのコレクション「Nawabari」のソファなどが館内に置かれている。レストランのメニューはスウェーデンの有名シェフ、フリーダ・ロンゲさんが監修。北欧の食材と和のエッセンスを融合させた特別な料理を提供する。甘い物と一緒にコーヒーを楽しむ、「フィーカ」というスウェーデンの習慣を体験することもできる。パビリオン前のフードトラックではムーミンのアイスクリームを販売する予定だ。ピルカマさんは「幸福度ランキングで北中央諸国はいつも上位を占めますが、『何が幸せなのか』という捉え方は日本と少し違います。私たちは日々の暮らしをより良くす



伝統的な納屋をイメージした北欧パビリオン

るにはどうすればいいのかを考えます。パビリオンでは、日常生活を彩る食事や家具からも幸せを感じてもらえると思います」と来館を呼びかけている。同パビリオンは予約不要。ナショナルデーは別々万博の参加国が自国の文化を発信する「ナショナルデー」は国ごとに異なる。4月24日デンマーク、5月14日スウェーデン、同



渦巻き状に吊るされた紙に北欧の日常生活の映像が映し出される北欧パビリオンの展示エリア。写真右はニタ・ピルカマさん

29日アイスランド、6月2日ノルウェー、同12日フィンランドとなっている。このうちデンマークはナショナルデーにあわせてフレデリック10世国王が来日。4月24日午前、EXPOナショナルデーホール「レイガーデン」で国王らが参列してセレモニーを開く。午後にはデンマーク系日本人シンガーソングライター、ミナ・オカバさんのライブなどデンマークと日本をつなぐ音楽パフォーマンスを披露する。



シグネチャーパビリオン「いのちの未来」で公開されたアンドロイドと石黒浩プロデューサー（産経新聞社提供、実際の展示内容とは異なります）



マイスター・二神さんに聞く 万博にいつ行く？ どう楽しむ？

大阪・関西万博にはいつ行って、何を楽しめばいいのー。これまでに160を超える博覧会を訪れ、テレビやラジオに「万博マイスター」として出演している二神敦さんに、万博見学のポイントを聞いた。

■開幕直後がお薦め

「パビリオンをゆっくり見て回りたいなら、会場が混雑していないゴールデンウィークまでに訪れるのがお薦めです」

二神さんが指摘するように、万博の来場者は開幕直後が最も少なく、閉幕が近づくにつれて増えるという傾向がある。

例えば、1970年大阪万博で最も来場者が少なかったのは開幕2日目（3月16日）の16万3857人、最も多かったのは開幕8日前（9月5日）の83万5832人だった。「月の石を見るため、アメリカ館に長時間並ばなければならなかった」と伝えられるが、開幕直後の会場はガラガラで、1日で多くのパビリオンを回ることができたという。

これは2005年愛知万博（愛・地球博）など他の万博も同様だ。大阪・関西万博でも、万博協会は「過去の傾向から会期前半は来場者が多くない」と想定している。

「ただ、万博は1日で会場を見て回ることはできません。二度、三度と来たくするのは間違いありません」と二神さん。

前半の来場者のピークとなるのはゴールデンウィーク（GW）だが、「最終日は意外と訪れる人が少なく、狙い目です」。今年は5月6日の振替休日がGWの最終日だ。修学旅行シーズンの6月は、平日も会場は混雑すると万博協会は予想している。

「夏休みの時期は暑いめか、お盆を除くと想像するほど会場は混みません」。しかし、閉幕1カ月前のシルバーウィーク（9月13～15日）のころから駆け込み来場が始まる。終盤の1カ月間に全体の約3割が訪れるというのが万博協会の予想だ。

■「夜間券」の活用を

万博の開場時間は午前9時～午後10時。何時ごろ、会場に入れたいのか？

大阪・関西万博は「並ばない万博」を目指してパビリオンやイベントの事前予約制を導入したが、実際には海外パビリオンの多く

は予約なしで入場できる。予約制を導入したパビリオンで「当日登録」枠を設けているところもある。このため、午前9時の開場直

後に来場すれば、一つでも多くのパビリオンを見学できることになる。

ただ、開場直後の会場は混雑しており、パビリオンによっては入場まで長時間並ぶことを覚悟しなければならぬ。

二神さんが薦めるのは夕方からの来場だ。「修学旅行などの団体客や遠方から来た人は夕方までに退場するため、先着順のパビリオンに入りやすくなる。ドローンショーやプロジェクションマッピングによる「One World, One Planet.」のような日没後に毎日実施されるイベントもあります」

大阪ヘルスケアパビリオンの公式アカウントも3月13日、Xへの投稿で「午後2時台までの（予約抽選の）申込が多く、残念ながら落選された方も。一方、午後3時以降は空きが見られました」「一つでも夕方以降の枠に申し込むことをお勧めします！」と来場者にアドバイスしている。

夕方以降の来場で活用したいのが「夜間券」だ。午後5時以降の入場となるが、価格は大人3700円と「一日券」（7500円）の半額以下で、気軽に利用できる。

「会場で気をつけなければならないのは真夏の猛暑。万博協会はさまざまな対策を

行いますが、それでも日中に屋外にいるのは厳しい。でも、夜になると海上にある会場は過ごしやすくなると思います」

■夏休みの自由研究

万博にはパビリオンを回ったり、イベントを見たり、レストランで世界各国の料理を食べたりするなど、さまざまな楽しみ方がある。「集める」こともその一つだろう。

その代表がスタンプラリーだ。各パビリオンは入場記念のスタンプを用意しており、スタンプ帳を持参すれば押してもらえ。スタンプ収集は大阪万博で人気となったが、デジタル時代の今も変わらない。前回のドバイ万博でも、会場の売店で最も売れた商品はスタンプ帳だったという。

「ドバイのトルコパビリオンはリピーターを増やすため、毎月、デザインが異なるスタンプを用意していました。ナショナルデーの日だけ押してもらえスタンプもあり、コンプリートするのは大変です」

ピンバッジもコレクターズアイテムとして人気だ。ピンバッジはパビリオン内の売店で販売されるが、ナショナルデーに特別のピンバッジを入場者に配るパビリオンもある。中

には、レアなスタッフのバッジと交換してもらうため、オリジナルのピンバッジを作って持っていくマニアもいるという。

こうしたコレクション以外に、二神さんがとくに薦める楽しみ方が2つある。

1つは小中学生が夏休みの自由研究に利用することだ。万博は参加国にとって自国の観光や産業をPRする場。質問をすればスタッフは丁寧に教えてくれる。

「たこ焼きに使われるタコの多くは西アフリカのモーリタニア産です。では、モーリタニアって、どんな国なのでしょう？パビリオンに行けば自然や文化、歴史、産業などタコ漁以外の情報も知ることができます。パビリオンによってはさまざまな資料を用意して、配っているところもあります」

もう1つは、ポップアップステージで開かれるイベントを見て回ることだ。

会場にはEXPOホール「シャインハット」のような大催事場以外に、「ポップアップステージ」という小規模のイベント施設が5カ

所ある。大催事場は事前予約が必要なイベントが多いが、ポップアップステージは予約なしで気軽に見ることができる。

「ポップアップステージでは参加国や企業、団体がさまざまなジャンルの催しを開きます。たまたまやっていたイベントが思いがけない出会いになるかもしれません」。ポップアップステージのイベントスケジュールは万博の公式ページで確認できる。

■予約なしでも…

2月にパビリオンの予約抽選が始まってから、Xなどでは「抽選に外れた。万博って不人気じゃないの？」と嘆く投稿を見かけるようになった。こうした声に対してマイスター・二神さんはこう指摘する。

「予約なしでもいいじゃないですか。気が向いたら万博に行き、大屋根リングに上って会場を見渡す。それから空いているパビリオンに入ったり、イベントを見たりする。そんな楽しみ方もいいと思います」

キャッシュレスアプリ ポイントでラウンジ利用も

大阪・関西万博のキャッシュレスアプリ「EXPO2025 デジタルウォレット」には、利用状況に応じて、さまざまな特典を獲得できる優待プログラムがある。シグネチャーパビリオンの8人のプロデューサーがパビリオンを案内するガイドツアーに抽選で参加できる特典もあり、万博を思う存分楽しむなら活用したいプログラムだ。

この「ミクミククリワードプログラム」は、デジタルウォレットで電子マネーなどのサービスを利用するとポイントが付与され、その合計ポイントでステータスが決まる仕組み。電子ステータスは7段階に分かれており、ランク

が上がるほど特典が増える。

「プレミアム体験」という特典は、プロデューサーガイドやパビリオンへの特別入場、優先席でのイベント鑑賞などの抽選に参加できる。最上位のステータスは、先着順で会場内の専用ラウンジを利用したり、公式キャラクターのミクミクと記念撮影したりできる特典が用意されている。

ポイントは電子マネーにチャージすると、金額に応じて付与されるほか、デジタルウォレットのIDを万博IDと紐づけたら、チケットを保有したりすれば獲得できる。電子マネーは会場外でも利用できる。

万博での7つの注意点

- ①入場ゲートの変更は可能**
来場予約時に選んだゲートとは別のゲートから入場する場合、会場外で移動はできないが、変更はできる。入場時に手荷物検査が行われるため、余裕を持って来場を。
- ②大きな荷物は持ち込めない**
会場に持ち込める荷物の大きさは60cm×90cm×40cm以下。大型コインロッカーは1日1万円する。ホテルやターミナル駅周辺の一時預かり所の利用を。
- ③スマホのバッテリー切れに注意**
会場や予約したパビリオンにはスマートフォンでQRコードをかざして入場する。会場内にモバイルバッテリーのレンタルサービスはあるが、できれば持参したい。
- ④会場内で現金は使えない**
会場内は全面キャッシュレスで、売店やレストランで現金は使えない。クレジットカードや電子マネー、コード決済など約70種類の決済手段が利用できる。
- ⑤弁当の持ち込みはOK**
会場内にはフードコートや多数のレストラン、カフェがあるが、とくに昼食時は混雑が予想される。弁当のほか、ペットボトルや水筒に入った飲み物も持ち込みできる。
- ⑥真夏は熱中症の危険も**
会場ではさまざまな暑さ対策が行われるが、夏に帽子や水筒は必需品。会場面積はユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)の約3倍あり、歩きやすい靴や服装で。
- ⑦マイカーは乗り入れできない**
自家用車を利用する場合は尼崎、舞洲、堺の万博P&R駐車場に駐車し、シャトルバスに乗り換えて会場へ。できるだけ鉄道やバスなどの公共交通機関を使いたい。

大阪・関西万博のチケット

券種	入場期間・回数	大人	中人	小人
		18歳以上	12～17歳	4～11歳
一日券	会期中にいつでも1回入場可能	7,500円	4,200円	1,800円
平日券	会期中の平日に1回入場可能	6,000円	3,500円	1,500円
夜間券	会期中の午後5時以降に1回入場可能	3,700円	2,000円	1,000円
通期パス	会期中に何回でも入場可能	30,000円	17,000円	7,000円
夏パス	7月19日～8月31日に何回でも入場可能	12,000円	7,000円	3,000円

※来場日時予約の枠に空きがある場合、入場ゲート前の案内所で紙の当日チケットが販売される。来場者は、ネットでの購入時には必要な万博IDの登録をせずに入場できる

早期来場キャンペーン 通期パス割引など特典

万博協会は5月までの早期来場キャンペーンとして、次回来場時に使える「通期パス」の割引などの特典を実施している。

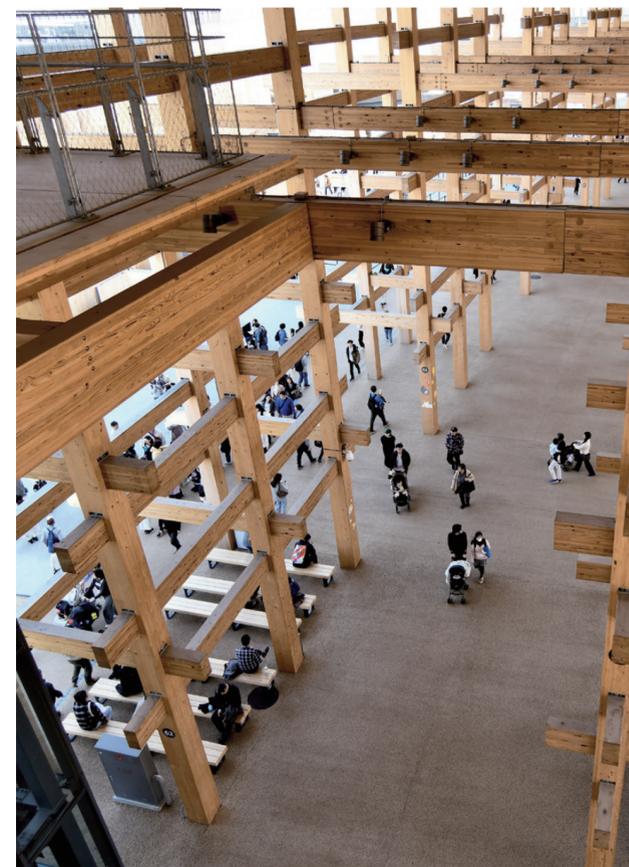
東ゲート前と西ゲート前にある引換所で毎日午後3時以降、来場当日に利用したチケットを提示した人に割引コードを配布。割引コードが利用できる専用サイトから通期パスを購入すると、大人は通常価格3万円から6000円、中人は1万7000円から3500円、

小人は7000円から1500円それぞれ割引と

なる。配布期間は5月31日まで。

会場内の「ミクミクハウス」でミクミクへのメッセージを書いた人に限定ピンバッジを先着順で配布。配布期間は4月14日～30日の平日と5月1日～30日の平日で、デザインは月によって異なる。公式スタンプラリーでも、早期来場で入手できる限定デザインのスタンプを用意している。

会場内の飲食店やショップなどでも割引や記念品プレゼントなどの特典がある。



大屋根リングの下にはベンチがあり、休憩することができる

万博のキーワード

日本で万博が開かれるのは6回目だ。時代が変われば万博も変わる。今回は55年前の大阪万博はもちろん、20年前の愛知万博（愛・地球博）とも展示手法などが大きく異なる。大阪・関西万博を理解するための3つのキーワードを探った。

デバイス (Device) パソコン、スマートフォンや、それらと接続して使う装置の総称。単体で動作する「情報端末デバイス」と、パソコンなどにつなぐと特定の機能を発揮する「周辺機器」の2種類ある。

かつての万博は入場者が乗り物でパビリオン内を回る方式が主流だった。大阪・関西万博では、こうした「ライド型」のパビリオンは一つもない。多いのは独自のデバイス（端末）を使って、入場者にさまざまな体験をしてもらうパビリオンだ。

手のひらに乗せると、どこかに引っ張られるような感覚になる。宮田裕章プロデューサー（慶應義塾大学医学部教授）のシグネチャーパビリオン「Better Co-Being」は、不思議なデバイスを使用している。



昨年4月、万博の開幕1年前イベントで「ふしぎな石ころ echorb」を披露する宮田裕章プロデューサー（産経新聞社提供）

会場中央の「静けさの森」の一角に位置する同パビリオンは鉄骨を組み合わせた外観で、天井や壁がない。テーマは「いのちを響き合わせる」。その場に居合わせた入場者同士がグループを組んで森を散策し、国内外のアーティストが制作した作品と遭遇する。その案内役となるのが「ふしぎな石ころ echorb」というデバイスだ。

石ころは重さ100gほど。特殊な振動で人の脳に引っ張られたり、押されたりする感覚を錯覚させる。これによって物理的な力を伴わなくても、誰かに導かれるような体験ができるという。また、色が変わったり、他のデバイスと共鳴したりもする。

宮田プロデューサーは「入場者同士がつながり、響き合う中で、ともに未来を描く体験の提供を目指している」という。

このほかにも、オランダが球体、ドイツが「サーキュラー」というパビリオンのキャラクター、パナソニックグループの「ノモの国」が結晶、住友館がランタン、「電力館」可能性のタマゴたちがタマゴをイメージしたデバイスを採用。ノモの国の結晶は無縁タグを埋め込んでおり、オブジェにカギすと

ふしぎな石ころ/



ルイ・ヴィトンのインスタレーション (LOUIS VUITTON)

光ったり、音が流れたりする。ドイツのサーキュラーは3カ国語で音声案内する。ライド型では入場者は同じ体験しかできないが、デバイスを使えば一人一人が異なる体験ができる。スマートフォンが普及した時代らしい展示手法といえそうだ。

没入感 (Immersive) ある対象や状況に意識を集中し、その世界に入ったような感覚のこと。音楽や映画に熱中しているときやゲームにのめり込んでいるときなどに使う。全身どっぷりはまる感じ。

「没入感」は最近、テーマパークなどエンターテインメントの世界で注目されている言葉。リアリティーのある映像や音響で観客がその世界の中にいるかのような感覚を体験できることで、「イマーシブ」とも呼ばれる。その演出方法は最新のデジタル技術を使うものから、インスタレーション（空間芸術）型や観客参加型までさまざまだ。

万博でも多くのパビリオンが「没入感のある展示」をアピールしている。

落合陽一プロデューサー（メディアアーティスト）のシグネチャーパビリオン「null? (ヌルヌル)」。全面が鏡におおわれた空間があり、入場者は生成AI（人工知能）がリアルタイムでつくる万華鏡のような映像に取り囲まれる。事前にスマホの専用アプリで自分の全身をスキャンしておく、映像に自分そっくりに振る舞うアバター（分身）が登場。入場者も演出に加わることができる。

テーマは「いのちを磨く」。落合プロデューサーは「これまで見たことがない世界を見られるのが万博。デジタルとつながる新たな世界を体感してほしい」と語る。

ゲーム大手のカプコンが大阪ヘルスケアパビリオンに出展した「モンスターハンターブリッジ」は、同社の人気ゲームの世界に入り込んだような体験ができるコンテンツ。シアターの壁や天井、床に映像を映し出し、入場者がAR（拡張現実）対応のゴーグルをつけると、モンハンキャラクターが目

前にいるように感じられる。さらに「多数のスピーカーや床振動によって、より没入感を高めた」（同社）という。

国際赤十字・赤新月運動館では、入場者は世界の人々の何気ない日常生活を写したインスタレーションを見た後、半球型ドームシアターへ進む。そこに映し出されるのは世界各地で頻発する紛争や災害による人道危機の現状と、それに立ち向かう赤十字の人々の姿。同パビリオンは「没入感の高いシアターで赤十字の使命と人間の力を感じていただきたい」としている。

フランスパビリオンは、壁にルイ・ヴィトンのトランク84個を並べたインスタレーションを設置している。日本とクラフツマンシップ（職人芸）へのオマージュを捧げた展示だといひ、アトリエの音が響き渡る。ブランドのファンにはたまらない空間だろう。

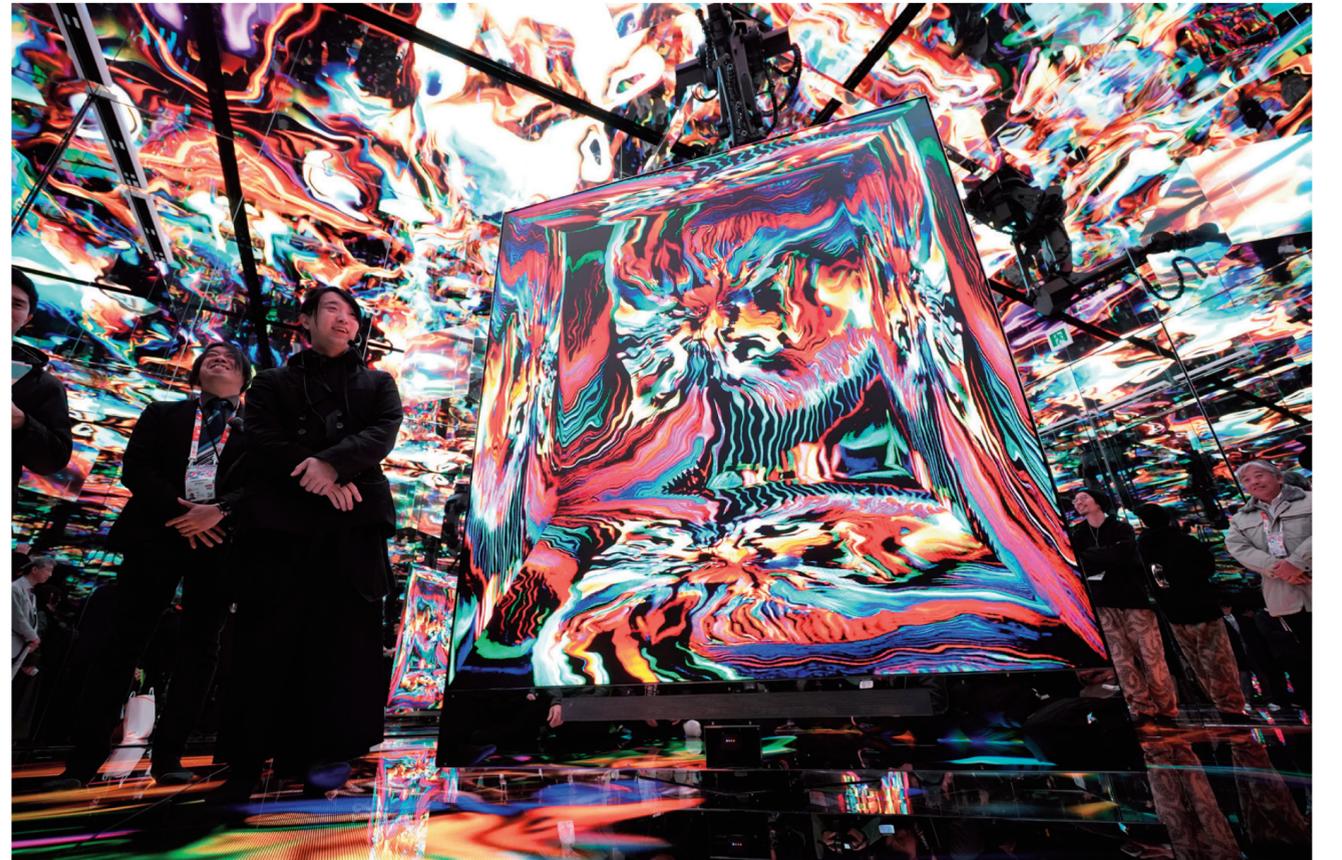
建築家 (Architect) 建築の設計や監理、その他関連業務を行うプロフェッショナルのこと。日本では国土交通省が認定する「建築士」という国家資格があるが「建築士＝建築家」ではないとされる。

愛知万博の海外参加国は万博協会が用意したパビリオンに入居したが、大阪・関西万博では47カ国が「タイプA」と呼ばれる自前のパビリオンを建設した。こうした海外パビリオンを含め、国内外で活躍している建築家や建築事務所が手がけた建築物が多いのが今回の万博の特徴だ。

レバノン出身の女性建築家、リナ・ゴットメさんが設計したバーレーンパビリオンは、アラビア半島の伝統的な帆船からインスピレーションを得た建物。木材を用いた構造とアルミニウムの外壁で構成され、三角帆を膨らませた帆船にも造船中の船にも見える。バーレーンの造船技術と日本の木工芸技術を再解釈したデザインだという。

ゴットメさんは今年2月、大英博物館の大規模改修コンペでその設計案が選ばれ、建築界で大きな話題となった。

万華鏡の空間/西陣織まとった建物



「null?」の展示について説明する落合陽一プロデューサー（産経新聞社提供）

「飯田グループ×大阪公立大学共同出展館」は1200年以上の歴史がある高級織物の西陣織をまとったパビリオンだ。建物の構造は「メビウスの輪」をモチーフにした複合的な三次元躯体。西陣織の膜材は赤が基調の花柄で、特殊なコーティングが施されパビリオンの表面を覆っている。設計したのは、京都を拠点に世界的に活躍する高松伸さん。高松さんはパビリオ

ンの公式サイトとの対談の中で「(1970年大阪万博当時) 貧乏学生だった私はブルドーザーの免許を取り、万博会場で土木工事のアルバイトをしていました。名だたる建築家たちが想像力の限りを尽くして華々しい建築をつくっているのを横目で見ながら、いつかは自分も世界を驚かせる建築をつくりたいと思っていました」と語っている。日本建築界の巨匠・丹下健三が会場の

グランドデザインを描いた大阪万博では、当時30代だった門下生の磯崎新や黒川紀章がパビリオンなどの設計に携わり、その後、世界に飛躍していった。大阪・関西万博でも休憩所やトイレなど20施設的设计に若手建築家が起用されている。

持続可能性に配慮して、万博閉幕後に再利用することを前提にしているパビリオンが多い。建築家の永山祐子さんが設計し

た「ウーマンズパビリオン」は、前回のドバイ万博の日本パビリオンで使われた特徴的なファサードを再利用している。

翼のような大屋根、織物のバスケット、干し草の山、計算機のパンチカード…。館内に入らなくても、見るだけで楽しい外観のパビリオンが多いのも特徴だ。

キーワードを知れば、大阪・関西万博はもっと面白くなりそうだ。

大阪・関西万博のパビリオンを設計した主な建築家

ノーマン・フォスター	サウジアラビアパビリオン
ミケレ・デ・ルッキ	北欧パビリオン
リナ・ゴットメ	バーレーンパビリオン
伊東豊雄	EXPOホール「シャインハット」
高松伸	飯田グループ×大阪公立大学共同出展館
SANAA (妹島和世・西沢立衛)	Better Co-Being (宮田裕章館)
坂茂	BLUE OCEAN DOME
隈研吾	EARTH MART (小山薫堂館)
	カタールパビリオン
	ポルトガルパビリオン
永山祐子	マレーシアパビリオン
	パナソニックグループパビリオン「ノモの国」
	ウーマンズパビリオン



リナ・ゴットメさんが設計したバーレーンパビリオン



ユニークな形状のトルクメニスタンパビリオン。外壁の一部がディスプレイになっている

ばえる万博

大阪・関西万博の会場にはフォトジェニックな被写体がたくさんある。ユニークな外観をしたパビリオンはその代表。日没後、パビリオンはライトアップされ、より美しくなる。館内の展示も魅力的で、複数の国が共同出展している「コモンズ館」が穴場だ。大屋根リングに上れば会場全体の風景を撮影できる。

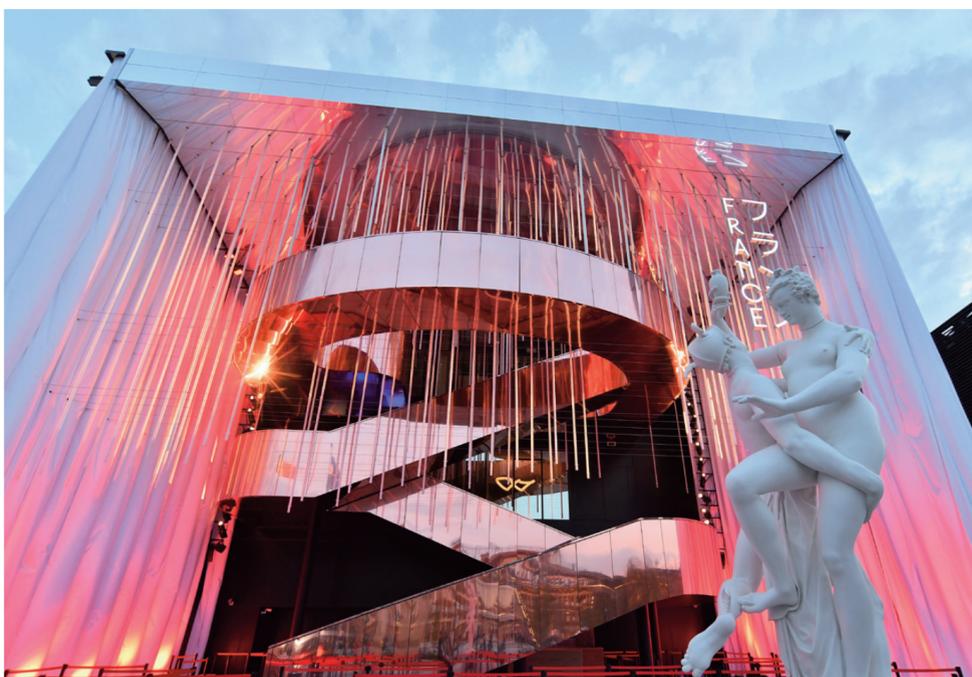
東西両ゲートに近い広場には公式キャラクター・ミyakumiyakのモニュメントがある。ここはグループでの記念撮影スポットだ。「ミyakumiyakハウス」ではミyakumiyakとグリーティング写真を撮ることができる。

晴れた日にお薦めしたいのは夕日の撮影。大屋根やパビリオンを入れて大阪湾に沈む夕陽を狙えば、幻想的な写真を撮影することができる。

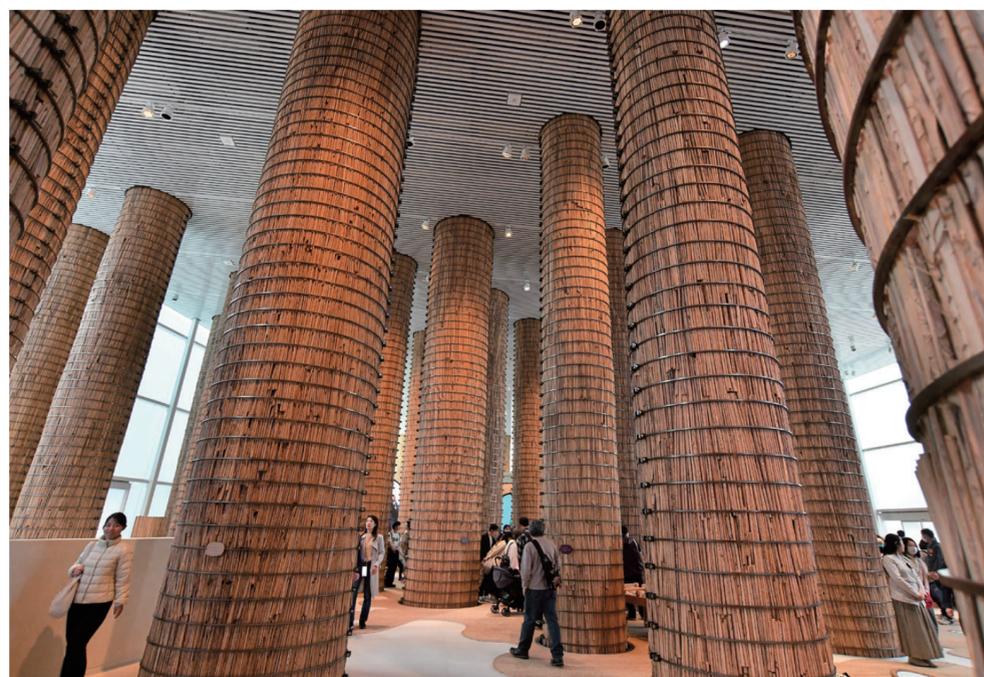


④西陣織の膜材が鮮やかな「飯田グループ+大阪公立大学共同出展館」。建築家の高松伸さんが設計した
⑤ぐるっと一周したり、会場の写真を撮ったり、芝生に寝転んだり…。大屋根リングの上で人々はさまざまな楽しみ方をしている

ドミニカ共和国以外の写真は山村雅彦さん撮影



「愛の賛歌」がテーマのフランスパビリオン



UAEパビリオンはナツメヤシの木をイメージした巨大な柱が並んでいる

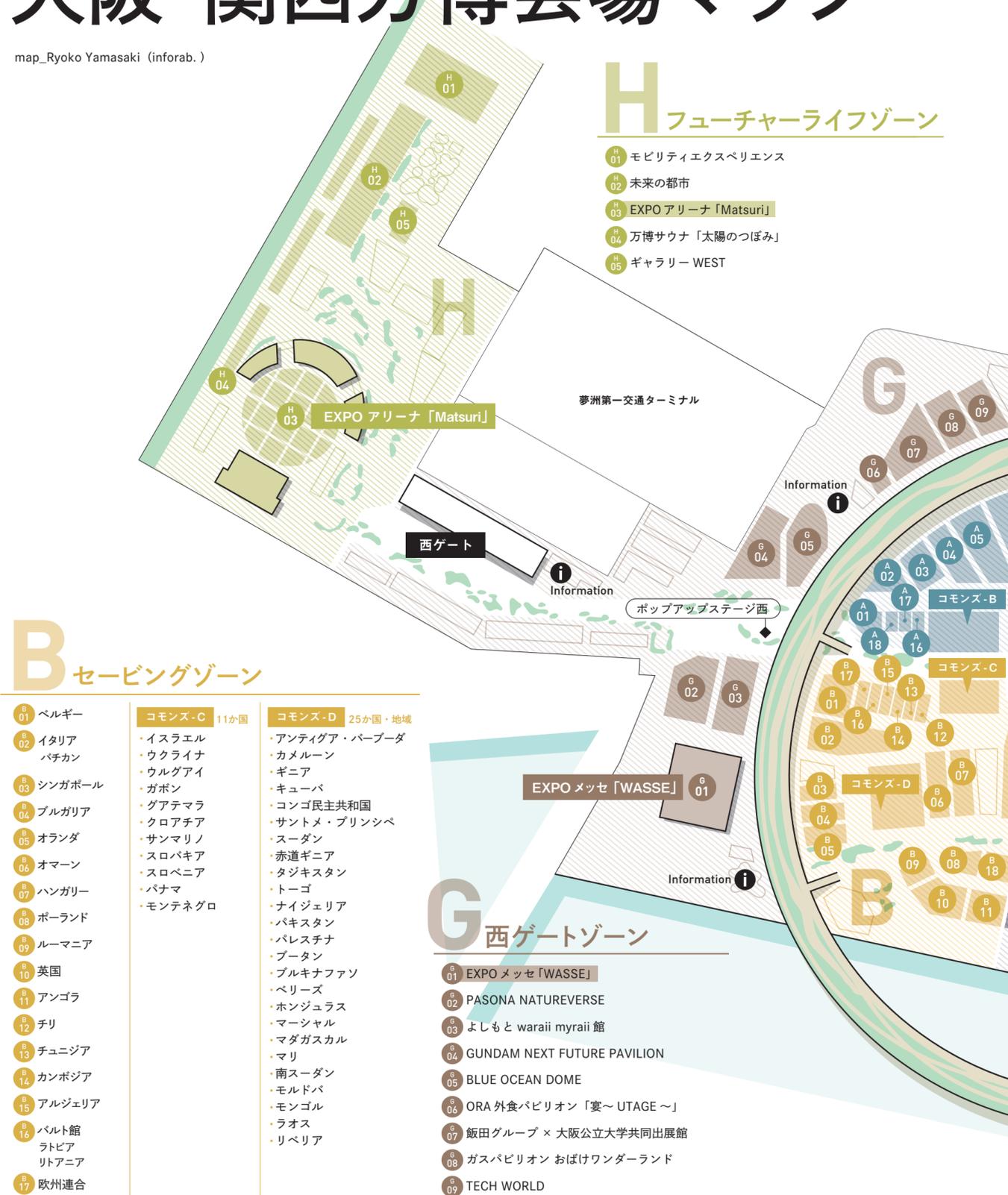


カラフルなドミニカ共和国のカーニバルの衣装

EXPO 2025

大阪・関西万博会場マップ

map_Ryoko Yamasaki (inforab.)



H フューチャーライフゾーン

- H 01 モビリティエクスペリエンス
- H 02 未来の都市
- H 03 EXPOアリーナ「Matsuri」
- H 04 万博サウナ「太陽のつぼみ」
- H 05 ギャラリーWEST

夢洲第一交通ターミナル

EXPOメッセ「WASSE」

G 西ゲートゾーン

- G 01 EXPOメッセ「WASSE」
- G 02 PASONA NATUREVERSE
- G 03 よしもと waraii myraii 館
- G 04 GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION
- G 05 BLUE OCEAN DOME
- G 06 ORA 外食パビリオン「宴~ UTAGE ~」
- G 07 飯田グループ × 大阪公立大学共同出展館
- G 08 ガスパビリオン おばけワンダーランド
- G 09 TECH WORLD

B セービングゾーン

- B 01 ベルギー
 - B 02 イタリア
 - B 03 シンガポール
 - B 04 ブルガリア
 - B 05 オランダ
 - B 06 オマーン
 - B 07 ハンガリー
 - B 08 ポーランド
 - B 09 ルーマニア
 - B 10 英国
 - B 11 アンゴラ
 - B 12 チリ
 - B 13 チュニジア
 - B 14 カンボジア
 - B 15 アルジェリア
 - B 16 ハルト館
 - B 17 欧州連合
- コモンズ-C 11か国
- イスラエル
 - ウクライナ
 - ウルグアイ
 - ガボン
 - グアテマラ
 - クロアチア
 - サンマリノ
 - スロバキア
 - スロベニア
 - パナマ
 - モンテネグロ
- コモンズ-D 25か国・地域
- アンティグア・バーブーダ
 - カメルーン
 - ギニア
 - キューバ
 - コンゴ民主共和国
 - サントメ・プリンシペ
 - スーダン
 - 赤道ギニア
 - タジキスタン
 - トーゴ
 - ナイジェリア
 - パキスタン
 - パレスチナ
 - ブータン
 - ブルキナファソ
 - ベリーズ
 - ホンジュラス
 - マンチアル
 - マダガスカル
 - マリ
 - 南スーダン
 - モルドバ
 - モンゴル
 - ラオス
 - リベリア

A コネクティングゾーン

- A 01 セルビア
 - A 02 ウズベキスタン
 - A 03 インド
 - A 04 インドネシア
 - A 05 オーストラリア
 - A 06 サウジアラビア
 - A 07 スペイン
 - A 08 タイ
 - A 09 トルコ
 - A 10 モナコ
 - A 11 アゼルバイジャン
 - A 12 韓国
 - A 13 ドイツ
 - A 14 ルクセンブルク
 - A 15 ネパール
 - A 16 エジプト
 - A 17 セネガル
 - A 18 バングラデシュ
- コモンズ-B 26か国
- エチオピア
 - カーボベルデ
 - ガイアナ
 - ガンビア
 - コートジボワール
 - ザンビア
 - シエラレオネ
 - ジブチ
 - ジャマイカ
 - ジンバブエ
 - セントビンセント
 - ソマリア
 - タンザニア
 - チャド
 - 中央アフリカ
 - ツバル
 - ドミニカ共和国
 - ナウル
 - ハイチ
 - パラグアイ
 - 東ティモール
 - フィジー
 - ペナン
 - ミクロネシア
 - モリタニア
 - レント
- コモンズ-F 3か国
- アルメニア
 - カザフスタン
 - ブルネイ

D エンパワーリングゾーン

- D 01 アイルランド
 - D 02 マレーシア
 - D 03 フィリピン
 - D 04 米国
 - D 05 フランス
 - D 06 カタール
 - D 07 アラブ首長国連邦
 - D 08 カナダ
 - D 09 ポルトガル
 - D 10 コロンビア
 - D 11 スイス
 - D 12 オーストリア
 - D 13 ブラジル
 - D 14 クウェート
 - D 15 中国
- コモンズ-A 29か国
- バレーン
 - トルクメニスタン
 - 北欧館
 - デンマーク
 - フィンランド
 - アイスランド
 - ノルウェー
 - スウェーデン
 - マルタ
 - チェコ
 - 国際赤十字・赤新月運動
 - 国際連合
 - ベトナム
 - モザンビーク
 - ペルー
 - ヨルダン
- 国際機関共同館 4国際機関
- イーター国際核融合エネルギー機構 (ITER)
 - 国際科学技術センター (ISTC)
 - 太陽に関する国際的な同盟 (ISA)
 - 東南アジア諸国連合 (ASEAN) 事務局

C シグネチャーゾーン

- C 01 Dialogue Theater -いのちのあかし-
- C 02 EARTH MART
- C 03 いのちめぐる冒険
- C 04 いのち動的平衡館
- C 05 null²
- C 06 いのちの遊び場/クラゲ館
- C 07 いのちの未来
- C 08 Better Co-Being



大屋根リング

静けさの森

ウォータープラザ

E 東ゲートゾーン

- E 01 NTTパビリオン
- E 02 大阪ヘルスケアパビリオン Nest for Reborn
- E 03 関西パビリオン
- E 04 三菱未来館
- E 05 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」
- E 06 住友館
- E 07 電力館 可能性のタマゴたち
- E 08 ウーマンズパビリオン in collaboration with Cartier
- E 09 日本館
- E 10 EXPOホール「シャインハット」
- E 11 EXPO ナショナルデーホール「レイガーデン」
- E 12 ギャラリー EAST

万博会場のさらに詳しい情報は大阪・関西万博サイトの公式マップを参照してください



ゲームで新エネルギー体験 「タマゴづくし」の電力館

大阪・関西万博には、子どもたちが喜びそうなパビリオンがいくつかある。電気事業連合会の「電力館 可能性のタマゴたち」もその一つだ。タマゴ型のデバイス（端末）を使って、ゲーム感覚で未来のエネルギーについて学ぶことができる。

大屋根リングの手前にある、地面に半分埋まった大きなタマゴのようなパビリオンが電力館だ。表面にさまざまな形をした銀色の不燃膜材を352枚貼っており、天候や時間帯によって見え方が変化する。

館内に入ると色とりどりに光る80個のタマゴが並んでおり、入場者は1つ選んで首から下げる。デバイスは直径10cm、高さ13cm、重さ310g。展示内容などに連動して光ったり、震えたりするようになっている。

照明を落とした最初の部屋に入ると、モニター画面に人類のエネルギー利用の歴史やカーボンニュートラルの重要性を紹介する映像が流れる。最後にナレーションが「未来を切り開くエネルギーの可能性をタマゴでたくさん集めてください」と呼びかけると、全員のタマゴが一斉に白く光った。

その後、入場者はエスカレーターで2階へ。今度の部屋は床や壁、天井が白一色で、28種類の体験型展示が並んでいる。

丸いテーブルに座ってタマゴを置くと、天井から投影された青色と赤色の玉が卓上に次々と現れる。それを手でかき集め、タマゴにくっつけるとポイントになる。原子核同士が融合して膨大なエネルギーを生み出す核融合の原理が分かる展示だ。

制限時間は1分間。2色の玉は同時に集めなければ核融合反応が起きないため、意外と難しい。10人が同時に参加でき、力を合わせればポイントを稼げる。

人の動きなどによって発生する振動を電気エネルギーに変換する振動力発電のコーナーでは、15人がスクリーンの前で一斉に足踏みしてエネルギーを作り出す。

このほか、「波力発電」「ペロブスカイト太陽電池」「無線給電」などに混じて「うどん」というコーナーも。実は廃棄されるうどんを使った発電も研究されているという。展示に詳しい説明はなく、ゲームを楽しみながら直感的に新しいエネルギーや技術の仕組みが分かるようになっていく。

このエリアを体験できるのは15分間。時間がたつとタマゴが光って案内する。

●5月10日にパビリオンデー

「電力館 可能性のタマゴたち」には屋外ステージがあり、会期中にさまざまなイベントが開かれる。「パビリオンデー」の5月10日には、お笑いタレント・小島よしおさんによるエネルギーについてのトークイベントが行われるほか、科学実験ショーや影絵ショーの開催を予定している。



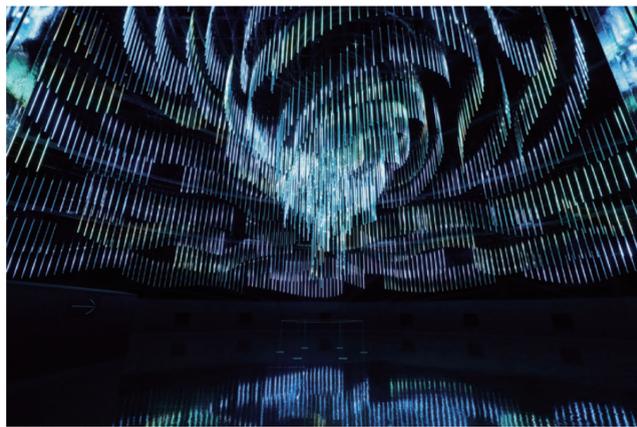
写真④みんなで足踏みしてエネルギーをつくる振動力発電のコーナー
同⑤ 核融合では青色と赤色の玉をタマゴにかき集める
同⑥ 「いのちの輝き」を表現した光と音のショー (写真はいずれも電気事業連合会提供)



次に通されたのは真っ暗な部屋。突然、立体的に配置された無数のLEDが音楽にあわせて輝き始めた。タマゴも連動して点滅する。万博のテーマでもある「いのちの輝き」を表現した光と音のショーだ。

最後に1階に降り、棚にタマゴを置くと自分が集めたエネルギーの数が表示される。壁には、体験エリアで紹介した28種類の新エネルギーなどの詳しい説明も。ショップも併設され、ピンバッジなどを販売している。とくに高さ2m以上ある巨大ガチャガチャは子どもたちの人気を呼びそうだ。

最初から最後まで「タマゴづくし」の電力館。「シンプルで分かりやすい展示を目指した。次の時代を担う子どもたちにエネルギーの可能性を感じてもらいたい」と岡田康伸館長と話す。所要時間は約45分。



「けいはんな万博」もスタート

大阪・京都・奈良の3府県にまたがる関西文化学術研究都市(けいはんな学研都市)を舞台にした「けいはんな万博」が4月13日、大阪・関西万博にあわせて開

幕した。「未来社会への貢献～次世代への解～」をテーマに、さまざまなイベントや展示を行う。会期も万博と同じ10月13日まで。「都市びらき」から今年で31年目となるけ

いはんな学研都市には12の文化学術研究地区(約3600ha)があり、150を超える研究施設や大学が立地。都市内のニュータウンに約25万人の住民が暮らしている。

けいはんな万博は、万博を機に都市をさらに活性化しようと計画された。「ロボット・アバター・ICT(情報通信技術)」「ウエルビーイング」「スタートアップ」「サイエンス&

アート」の4分野で、研究施設や交流拠点「けいはんなプラザ」などを会場に最新の研究や技術を分かりやすく紹介する。

5月25日に京都府精華町のせいか大通りで開かれる「けいはんなアバターチャレンジ2025」では、アバターロボットを使った「買い物競争」などのイベントを行う。一般の人が参加できるプログラムもある。



demo!expo Presents

万博会場と大阪の街をつなぐプログラム

夜のパビリオンSTART!

世界中の人々が集う拠点「EXPO酒場」に集合!

万博を機会に大阪を訪れる海外の人たちや、会場で働くスタッフ、観光客、そして大阪の街の人々をつなげる場として考え出された「夜のパビリオン」。メインプログラムの「EXPO酒場」は、キタとミナミに本店を構え、飲食や音楽、トーク、ショッピングが楽しめる場としてオープンします。週替わりで「まちのテーマウィーク」などを企画し、海外の国や国内の地域、企業などさまざまなパートナーと共に、酒場を盛り上げていく予定。食い倒れの街、飲み倒れ(?)の街・大阪で、未知なる出会いを楽しもう!



EXPO酒場キタ本店 サントリー編

2025年4月14日(月)～20日(日)

1日の終わりに最高の一杯を! サントリーとEXPO酒場が連携し、万博の海外パビリオンスタッフへ贈る企画「KANPAI NIGHT PASS」。EXPO酒場キタ・ミナミ本店にて、専用の升とカードを購入すると、ドリンクが1日1杯無料。ねぎらいだけでなく街のみなさんと交流してもらおう目的も。大阪から広がる「おつかれさま」の輪に「KANPAI」!

EXPO酒場 キタ本店

ルクア大阪 B2F
アトリウム側エスカレーター吹き抜け

① 大阪府大阪市北区梅田3丁目1-3
② 17:00～23:00
※フロア営業時間 11:00～23:00

明治7年に初代大阪駅が誕生し、大阪の交通の要衝・ビジネスの中心地となった梅田。かねてからここ梅田では、屋に一生懸命働いた人たちが、夜には街を「慰いの場」とし未来を語りあったのでは? そんな思いをもとに「働くまちの慰いの場」をコンセプトとした、キタ本店が開店。



EXPO酒場ミナミ本店 世界のビール編

2025年4月14日(月)～20日(日)

EXPO酒場ミナミ本店に、世界のクラフトビールが集合! 国内外のクラフトビールを取り扱う専門店「ilie」(心斎橋・アメリカ村)が厳選し、期間限定のポップアップバーにてお届けします。また、店内には各国の乾杯の言葉が日替わりで登場。パスポートなしで行けちゃうビール旅行で、豊かな一杯をお楽しみください!

EXPO酒場 ミナミ本店

心斎橋 PARCO B2F
TANK酒場/喫茶

① 大阪府大阪市中央区心斎橋筋1丁目8-3
② 17:00～23:00(L.O. 22:30)
※フロア営業時間 11:00～23:00

ビジネスマンが多く行き交うキタと比べて、よりさまざまな人が集い、大阪ストリートカルチャーの中心地として発展してきたミナミ。繁華街としての側面だけでなく、大阪人が作り上げてきたミナミの文化を観光客に楽しんでもほしいという思いから、「人と文化が混ざり合う遊び場」がコンセプトに。

大阪の宝・面白い人に
出会えるアプリ

「OSAKA YORUMON」誕生!

大阪の観光資源である「人」にフォーカスをあて、EXPO酒場本店を起点に夜の街で出会う面白い人=YORUMONを探せるアプリ。YORUMONを紹介するのは、長年街で遊び尽くし、その魅力を伝えてきたYORUMON GUIDEたち。アプリ片手に街へ繰り出そう。



「はらいそ sparkle」
ジョルさん



「うつけ」
YUUNAさん



「FARPLANE PARCO店」
Pechicoさん



「アメ村社員食堂」
ママさん



「鉄板野郎 真参道店」
土居ちゃん



「ヒロカワテラー」
ケンケンさん



大阪商工会議所 会頭
鳥井信吾さん

大阪商工会議所運営の「大阪企業家ミュージアム」では、大阪の産業発展に貢献した企業家・「人」の展示を行う。「熱意ある人こそが大阪の魅力」と語る。サントリーホールディングス代表取締役副会長。



一般社団法人demoexpo 代表理事
花岡さん

2010年に株式会社人間を設立。2021年にチーム「demo!expo」を立ち上げ、大阪・関西万博を勝手にプロデュース。現在、株式会社人間代表取締役、変なプロデューサー、大阪まちごと万博共創プラットフォーム 協働プロデューサーを務める。

まちごと万博 スペシャル対談!

境をなくし、混ぜり合え。 巷のパビリオン「EXPO酒場」の可能性

今回「夜のパビリオン」を企画するのは、これまで「まちごと万博」と題して、万博をきっかけに生まれる面白いプロジェクトや、活動をする人に注目してきた、一般社団法人demoexpo（以下、demo!expo）。そんな「まちごと万博」を応援してくれている大阪商工会議所の会頭・鳥井信吾さんと、demo!expo代表理事の花岡さんに、この取り組みに期待することをお聞きしました。

国じゃなくて、民がやる。そんな「大阪らしさ」は、今も健在。

— 2021年から活動をしている「まちごと万博」。印象に残っているシーンはありますか？

鳥井信吾さん（以下 鳥井） 万博開催まで半年切ったことを祝って2024年10月に行われたイベント「EXPO OPEN STREET」でのことが、よく印象に残っていますね。イベント中に歩道に設置された舞台上に登壇者の5人が立ち、テープカットをするセレモニーがあったんです。テープカットの3人目である花岡さんは、なんと大胆にも大きなリボン根元から全て切ってしまった。花岡さんのその姿を見た瞬間、私は「これや!」と思ったんです。「誰もが予測してないことを大胆におもろく実行する」、これが大阪のパワーだと感じました。

— そんな花岡さんが理事を務めるdemo!expoによる、「夜のパビリオン」が

鳥井 やっぱり大阪の最大の魅力は、ざっくばらんで、人と人の間に壁を作らず、コミュニケーションができること。そういう大阪の良さを一番発揮できるのが夜の酒場なんやないかな、と。スナックのママや地元の常連客との温かいコミュニケーションを通じて、ガイドブックには載っていないユニークでリアルな大阪を体験してほしい。

花岡さん（以下 花岡） 夜こそが偉い人も偉くない人も関係なく、肩書を外して一番フラットに喋れる時間を作れますし。

鳥井 本音が出ますよね、だんだんとその雰囲気を作れるのも大阪やからこそだと思います。先日中国国際貿易促進委員会の任会長が訪日された際、「大阪と東京は、えらい違いますね」と。

花岡 え〜、そうなんですか!?

鳥井 そうそう。海外から来る人たちはよく、大阪の方が断然アットホームって言いますね。だからその良さを伝えられるのが「夜のパビリオン」だと思います。今は大阪の街も再開発が進んでいるけれど、ミニ東京化しているようにも感じていて、大阪の

一番の良さはそこじゃないでしょうって。大阪の良さは、中身なんです。

花岡 インフラだけでなく中身が面白いところ、人が観光資源であるところこそが大阪の良さですね。人と人の交流って、めっちゃ簡単な話なんですけど、その機会をきちんと作るかどうかで万博の結果というのは大きく左右されると思っています。やっぱり僕、勝手にやることはカッコイイと思うんですよ。大阪にはそれを許す土壌があると思います。東京には、たぶらない。それはやっぱり大阪には、江戸時代から商人が街を作ってきたという文化があったから。

鳥井 花岡さんたちは、そういう大阪文化を受け継いでいる。

花岡 国じゃなくて民がやる、みたいな。

鳥井 それ東京は、役人がいて、政治家がいて、大企業があってというピラミッド社会が基本構造。大阪ももちろんそういうところはあっても、市井の人はそう思っていない。

花岡 そんな関係ないわ! ぐらいで(笑)。勝手にやることの方が大事や! と

いうことを、僕は描いていたらと思っています。

EXPO酒場は、建前を振り払った 真の交流ができる場所

花岡 極端な話、国というのは建前だと思っています。だから国と国の交流というよりも、人と人の交流こそが本音で交流していると言えるんじゃないかと。

鳥井 戦争している国同士は、万博会場では交流できなくても、このEXPO酒場では乾杯ができると思う。それこそ、勝手に来たらわからへんしね(笑)

花岡 そうですね(笑)。だから外国人もパビリオンスタッフも街の人も、みんなが本音で交流できる場がここ。ここを待ち合わせ場所として集まって、そこからどんどん大阪の街に繰り出してほしいですね。

鳥井 そうですね。大阪商工会議所では「くうぞ、万博。」をキャッチフレーズに、「食」が持つ力で大阪全体を盛り上げています。ここで出会った人と、万博にちなんだメ

EXPO酒場のイベントが開催された、対談当日。



ニューの食べ歩き・飲み歩きをぜひ楽しんでほしいですね。あと、特に40代以下の世代はこの場で出会った人や体験したことを絶対忘れないと思います。若い時の記憶って、ずっと残ってるでしょう。私なんかもう全然、最近の記憶ないですよ(笑)

花岡 僕のこと覚えてます?(笑)

鳥井 それはもちろん(笑)。国を超えて、人種を超えて、カップルが生まれるくらいの場合になったら面白いですね。

花岡 いいですね。恋愛が生まれるぐらいの、濃厚な時間に。

鳥井 それこそ本音で交流できるからこそ話でしょうか? 昼間に「Say Hello!」だけでは、なかなか難しい。

花岡 そうですね。だからこそ、「夜のパビリオン」は、いろいろな可能性が生まれる半年の実証実験だと思っています。この企画が成功したらもちろんいいですし、失敗してもいい。ここで生まれた何かを、ソフレガシーとして、どんどん街や自分たちに残していくことをやっていかないと、ほんまに万博を開催した意味がなくなってしまうと思います。何億と投資しているわけですし、国が何か良い結果を生んでくれると考えるのではなく、自分たちが何かを生んでやるぞ、という。僕らのように10人ぐらいのチームがこういうことをやっているのだから、大企業にもどんどんやってほしい。

鳥井 でもね、これは10人だからできるんですよ。

— 10人の会社がやっていることで、自分たちも何かやってみようという行動に移す人が増えるかもしれないですよ。

花岡 僕らみたいに勝手に動く人がどんどん増えたら、それこそソフレガシーかもしれません。

鳥井 そろそろ、資本主義経済の一番問われているところだと思いますね。

— ではこれが、そのための実証実験というのか?

鳥井 まあ、そんな大上段の目的を打ち出しているわけではないけれど。

花岡 でも万博はそういう意味でも、本当にいいきっかけだと思います。こんな風に鳥井さんと話せる機会がなくて、万博がなければありませんでした(笑)

鳥井 いやいやいや(笑)。でも、花岡さんのようなチームや動きがどんどん生まれるかどうか、今後の日本経済、ひいては世界経済の鍵になってくると考えますね。



大阪の街と若い世代に期待を寄せる鳥井さん。

まちごと万博とは?

街をもうひとつの万博会場とし、万博をきっかけに生まれる面白いプロジェクトやイベント、活動をする人を「まちのパビリオン」に見立て、光をあてる活動。一般社団法人demoexpo（以下、demo!expo）が、「でも、やろう」を合言葉にスタート。2024年からは大阪まちごと万博共創プラットフォーム（大阪商工会議所、大阪府・大阪市万博推進局、公益社団法人関西経済連合会、一般社団法人関西経済同友会が構成）とともに、万博開催の機会を自分たちの街の中で最大限に活用しようと、さまざまなプロジェクトやイベントを開催し「まちのパビリオン」を増やしてきた。

関連イベント

- SPICE DIVE! OSAKA**
〜世界と出会った大阪スライスカレー〜
2025年4月4日(金)〜7月31日(木)
Osaka Metro沿線の協力店舗にて、スタンプラリーを開催
- 東横堀川ING2025春**
「水辺のプロジェクションマッピング」
2025年3月20日(木・祝)〜2026年2月頃まで(予定)
会場：東横堀川（大阪市中央区本町橋から高麗橋まで）
- SUNTORY街角のパビリオン**(万博アート自販機) NFTスタンプラリー
2025年4月25日(金)〜7月24日(木)
設置先81カ所・88台
(スタンプラリー不参加の設置先は除く)
- はしのしたサルサパーティー**
2025年4月18日(金) 16:00〜21:00
会場：本町橋下周辺【荒天中止・小雨決行】

まちごと万博の歩み

業界やエリアを超えて、これまで50を超えるプロジェクトが誕生した「まちごと万博」。それぞれ「まちのパビリオン」が線となり、線が面へと広がることに期待し、万博終了後の街に価値を残すために活動中!

まちごと万博 始動!



万博を「勝手に」盛り上げるべく一般社団法人を発足。その同日に、プレ万博イベント「まちごと万博2023」大戦略会議を開催。小学生やクリエイターなどさまざまな人が集い、万博とその周辺に広がる企画・未来を語り合った(2023年4月)。

まちごと万博オープニングセレモニー



JR天満駅前に建てた橋を舞台に記者会見を実施。プロジェクトの発足経緯やプラットフォームサイトを紹介。鉄道会社や和菓子店などさまざまな人が、自身が「まちごと万博」で実現させたいアイデアを続々と発表した(2024年4月)。

「まちごと万博」Webサイト始動!



「まちのパビリオン」として登録されたイベントやプロジェクト、人を掲載し、イベント情報やプロジェクトの成果を随時更新。さらに特集記事では、街を舞台に繰り広げられる活動の裏にあるストーリーを紹介中(2024年5月〜)。

まちごと万博 決起集会



「まちごと万博」本格始動にふさわしく、123と数字が並ぶ12月3日に決起集会を開催。万博会場の大屋根リングから着想を得て、大阪中之島美術館にプロレスリングを持ち込み、目指す街の姿やプロジェクトを発表(2024年12月)。

まちごと万博フリーペーパー 創刊!



EXPOST

メディアも、パビリオンも、勝手につくる。 街と万博を本気でつなぐフリーペーパー、創刊。

街の声を聴き、発信を続けてきた『EXPOST』。
街を舞台に、もうひとつの万博をつくってきた『まちごと万博』。
誰かに言われたからでも、仕事として頼まれたわけでもなく、
それぞれが万博を自分ごととして捉え、「万博を面白くしよう」
「万博後の街にも価値を残そう」と動いてきました。

その2つの視点が掛け合わされば、「街と万博の関わり」を
もっと立体的に、もっと面白く描けるはず。2025年5月、大阪・
関西万博の会期に合わせて共同制作のフリーペーパーを創刊
します。会場の中だけでなく、外にも広がる万博を、一人でも
多くの人の手元へ。そして、未来へ届けていくために。

2025年5月、
まちごと万博×EXPOSTフリーペーパー第1弾配布(予定)